

平成29年

5月13日(土) 午後1時開演

能

小袖曾我

中村邦生

物着

狂言

朝比奈

山本泰太郎

能

夜討曾我

友枝雄人

—特別演出による—

能の魅力を知らずにはいられない

平成29年

7月28日(金) 午後7時開演

解説

金子直樹

能

望月

友枝雄人

能の魅力を知る 仇討の光と影

武士の時代、自分の親や主君が争いの上殺害された場合、その仇を討つのは公に認められた事でした。曾我兄弟の仇討は幼い頃から思い続けた仇討、望月の仇討は偶然再会した仇への急な仇討と、その本懐を遂げます。いずれも決して幸せな終焉ではありませんが、人々の心を打ち演劇や読み物にも語り継がれた仇討の物語を様々な形でご覧ください。

平成29年5月13日(土)午後1時開演 — 曾我兄弟 —

<p>平成29年7月28日(金)午後7時開演 — 望月 —</p>		<p>平成29年5月13日(土)午後1時開演 — 曾我兄弟 —</p>	
<p>解説 金子直樹</p>	<p>(配役)</p> <p>小沢刑部友房 友枝雄人</p> <p>安田友春の妻 内田成信</p> <p>花若 内田利成</p> <p>望月秋長 山宝生</p> <p>秋長の従者 山本則孝</p>	<p>(配役)</p> <p>曾我十郎祐成 中村邦生</p> <p>曾我五郎時致 友枝雄人</p> <p>母 大村敬一郎</p> <p>團三郎 金子敬一郎</p> <p>鬼王 内藤成信</p> <p>古屋五郎 佐藤寛泰</p> <p>御所五郎丸 大谷輝久</p> <p>繩取 谷友矩</p> <p>侍女春日局 友枝雄太郎</p> <p>大藤内 山本則孝</p> <p>狩場見廻人 山本則孝</p>	<p>狂言「朝比奈」</p> <p>朝比奈三郎 山本泰太郎</p> <p>閻魔 山本則重</p> <p>地謡 山本則秀</p> <p>若松則隆</p>
<p>後見 内田安信</p> <p>地謡 中村邦生</p>	<p>後見 内田安信</p> <p>地謡 中村邦生</p>	<p>(小袖曾我)</p> <p>粟谷浩一</p> <p>佐々木多門</p> <p>栗谷浩一</p> <p>狩野了</p> <p>後見 小寺真佐人</p> <p>大鼓 谷口正壽</p> <p>太鼓 小寺真佐人</p>	<p>(夜討曾我)</p> <p>香川靖嗣</p> <p>塩津圭介</p> <p>友枝真也</p> <p>佐々木多門</p> <p>長島茂</p> <p>塩津哲生</p> <p>友枝昭世</p> <p>粟谷浩一</p> <p>佐々木多門</p> <p>栗谷浩一</p> <p>狩野了</p> <p>後見 小寺真佐人</p> <p>大鼓 谷口正壽</p> <p>太鼓 小寺真佐人</p>

●小袖曾我(ももぎ) ◎朝比奈(あさひな)

曾我十郎祐成と五郎時致の兄弟は、源頼朝が富士の裾野で狩りを行う機会に親の仇の工藤祐経を討つことにする。二人は暇乞いのため母の元を訪れるが、母は出家せよとの命に背いた五郎の勘当を解かない。死を覚悟している一人を許さない母に怒みを述べ兄弟は去ろうとするが、母は五郎の勘当を許し門出の祝いにと盃を酌み交わし、兄弟は舞を舞い、別れの挨拶をし勇んで出立する。

●夜討曾我(よるうぎ) ◎望月(もちつき)

信濃国の安田庄司友春は口論の末、この望月秋長に討たれ、一家は離散する。家臣の小沢刑部友房は今は近江国の守山で甲屋という宿屋を営んでおり、友春の妻と遺子の花若は、敵の手を逃れて放浪の旅に出ていたが、はからずも甲屋に泊り、小沢は己の身を明かして共に涙に暮れる。そこへ、都での長年の取り調べの後無罪となり帰郷する望月がやって来る。従者が口を滑らし彼が望月であることが知れ、小沢は仇討の時節到来と安田母子に告げる。母を首御前に仕立て望月の座敷に連れて行き酒を勧め、母に曾我兄弟の仇討の物語を語らせ、花若に羯鼓を打たせる。小沢も獅子舞を舞い、望月一行が気を許し酒に酔って眠った隙を見て、花若と力を合わせて望月を討ち本懐を遂げる。

●朝比奈(あさひな)

最近人間が利口になって地獄へ落ちる者が少なくなったので、閻魔はすがすがしさを地獄へ追い落とそうと六道の辻で待っている。やがて現れた武者を地獄へ連れて行くことと動かない。聞けば和合戦の勇者、朝比奈三郎義秀だと名乗る。閻魔はなおも責めるが歯が立たず、負けを認めて朝比奈に和合戦の様子を語らせる。朝比奈は戦の有様を語り、ついに閻魔は極楽への道案内をする事になる。

●夜討曾我(よるうぎ) ◎特別演出による

曾我十郎・五郎兄弟は父の仇工藤祐経を討つにあたり、主君と命を共にしたいと言う従者の團三郎と鬼王を説得し、故郷の母への形見の文と守りを持たせて送り出す。仇討は成功するが十郎は古屋五郎に討たれ、五郎も御所五郎丸に生け捕られてしまう。家来の團三郎と鬼王は兄弟の母に形見を届け、母は国上(丸上)寺にいる末弟の禪師に危険が迫る事を案じ、團三郎に文を持たせて急ぎ寺へ運ぶ。

今回は特別演出として、後日譚である「禪師曾我」の前段を探り入れ、劇的な仇討の物語を更に演劇性を高めて上演。

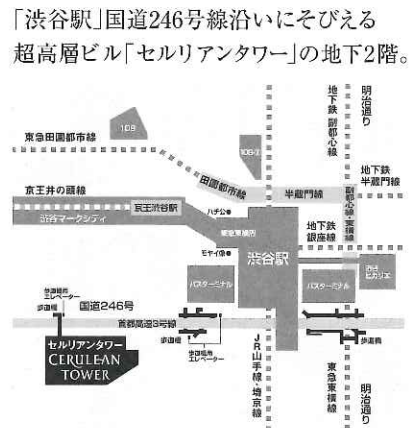
平成29年
5月13日(土)
午後1時00分開演
(12時30分開場)

7月28日(金)
午後7時00分開演
(6時30分開場)

◎前売開始：[5月13日(土)公演] 平成29年2月13日(月)
[7月28日(金)公演] 平成29年4月28日(金)
各日午前10時00分より

◎料 金(税込)：[5月13日(土)公演] S席(正面)8,500円/A席(脇正面)6,500円
B席(中正面)5,000円/学生席(座敷)3,500円
[7月28日(金)公演] S席(正面)7,000円/A席(脇正面)6,000円
B席(中正面)5,000円/学生席(座敷)3,500円

●7月28日「望月」公演は休憩がございません。
●両公演同時購入の際、通し割引あり。
※通し割引チケット、学生席はセルリアンタワー能楽堂でのみ取り扱い。
※学生席購入の際には学生証の提示をお願い致します。



◎チケット申し込み：
Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 オンラインチケットMY Bunkamura <http://my.bunkamura.co.jp/>
Bunkamura チケットカウンター (Bunkamura 1F正面入口右手/10:00~19:00)
東急シアターオーブ チケットカウンター (渋谷ヒカリエ2F/11:00~19:00)

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承ください。
※休憩時間に、能楽堂隣「金田中」入り口にて、軽食・飲み物の販売をいたします。
※セルリアンタワー東急ホテルでは、お食事とチケットをセットしたお得なプランをご用意いたしております。(お問合せ・お申込み)ホテル代表 03-3476-3000